

臭いの科学

悪臭防止法ではアンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒドなど22種を特定している。いずれも元素に窒素、硫黄等を持つ。悪臭の元区とされるインドールやスカトールは同属化合物で、いずれも大便臭を発するが、いずれも高濃度の時で低濃度になると臭いから匂いに変換する。即ちインドールはオレンジやジャスミンなどの花の香りの成分でもあり、天然ジャスミン油は2.5%のインドールを含む。又、合成インドールは香水や香料に使用。一方、スカトールはインドールの誘導体で同様にトロピカルフルーツの花の香気成分に含まれ、多くの香水やタバコの香料として使われている。